棚の家 一水平の板で繋ぐ空間一

林工務店

構造

持家一戸建

木質系プレハブ

集成材による棚や腰掛け、階段、机といった造作だけで、空間を魅 力的に再編している。この作品のように、躯体に手を加えることが 難しいハウスメーカーの住宅などで、特に有効な手法といえる。屋 外テラス、リビング、ダイニングの立体的なつながりが心地よい。

優秀賞 【住宅リフォーム部門】 設計 フジタケイ建築設計事務計 HLL W W AKAMI ARCHITECTS リフォーム前後の写真



4 リビングよりテラスを望む。内部に設けた水平の腰掛けによって内と外が繋がる

## リフォームの動機/設計・施工の工夫点/施主の感想・満足度/住宅の価値を向上させた内容など

ハウスメーカーの三階建住宅を改修し、4人家族の住まいとした計画。既 存の住宅は壁や段差で分断されていて狭く閉じていたため、設計当初、壁 や開□部の位置を更新することを検討したが、メーカー独自のクローズド 工法で建てられていた為、躯体の変更は実質不可能であった。そこで壁を -切変更せず、腰掛け、階段や机にもなる「棚」の設えによって、分断さ れた空間の連続性や繋がりを実現させることとした。まず、ダイニングと リビングに隣接するバルコニーが使われていなかったためデッキや壁、サッ シを更新して居心地の良いテラスとした。集成材の腰掛けの「棚」をテラ

2 リビング。水平の集成材が、机、本棚や神棚、収納棚となる

スデッキの延長で内部空間に設け、外部のテラスと視覚的、身体的に結ぶ ことで、違うレベルにあり離れたダイニングとリビングの2つの内部空間 の距離を縮めた。その延長で、階段、机、パントリー、また本棚や神棚といっ た「棚」も同様に水平の集成材で構成し、垂直方向のフラットバーによっ て支持しながら内部空間に配置した。フラットバーは、圧縮に強い鉄の特 性を生かすこと、等間隔の水平材に連結させ座屈を防止させることで細い 部材を可能とし、水平の木の「棚」をより強調することで、分断されてい た部屋に連続した奥行きを与え、広がりの感じられる空間を生みだした。

性能向上の特性

通風•採光、温熱性能、

防音•遮音性能、室内空気環境

特に配慮した事項

自然採光・自然通風、回遊性や動線の見直し、サッシの更新、天井裏断熱材の更新に よる防音・遮音性の向上、キッチン位置の変更による室内空気環境の改善

データ 所在地 京都府京都市 新築竣工年 1996 年 築後年数 24 年 施工期間 105 日間 該当工事床面積 84.88 ㎡ /総工事床面積 232.58 ㎡ 該当部分工事費 1100万円 /総工事費 2300万円 居住者構成 65 歳以上: 0人 / 15~64歳: 2人 / 15歳未満: 2人 /

## リフォーム前の平面図 リフォーム後の平面図 個室 玄関 和室 | | 和室 1F PLAN 1/500 1F PLAN 1/500 居間 食堂・台所 <114 バルコニ・ 個室 個室 ◆ 空間の繋がり 2F PLAN 1/200 3F PLAN 1/500 2F PLAN 1/200 リフォーム部位 : ■居室/ ■台所/ ■浴室/ ■便所/ ■洗面所/ ■廊下/ ■階段/ ■玄関/ □エクステリア/ □マンタョン共用部分/ □その他